

キーワード

市場

中央卸売市場 センターヤードが完成

全面建て替えの再整備が完了し、場内の物流がスムーズに



中央卸売市場とは

札幌ドームがすっぽり収まる敷地面積を誇る北海道最大の市場。

青果棟と水産棟があり、卸売業者などが集合して、1日平均1,685トンの、6億6,700万円もの品物がせりなどで取り引きされます（一般客の品物の購入はできません）。

- 所在地 中央区北12西20
- 総面積 11万5,906平方メートル

中央卸売市場のセンターヤードが二月十九日(月)に完成し、平成十一年から工事を開始した市場の再整備がまもなく完了します。

生鮮食品を素早く、公正な価格で消費者のもとへと流通させるために、昭和三十四年に開設された中央卸売市場や水産物が売買されています。

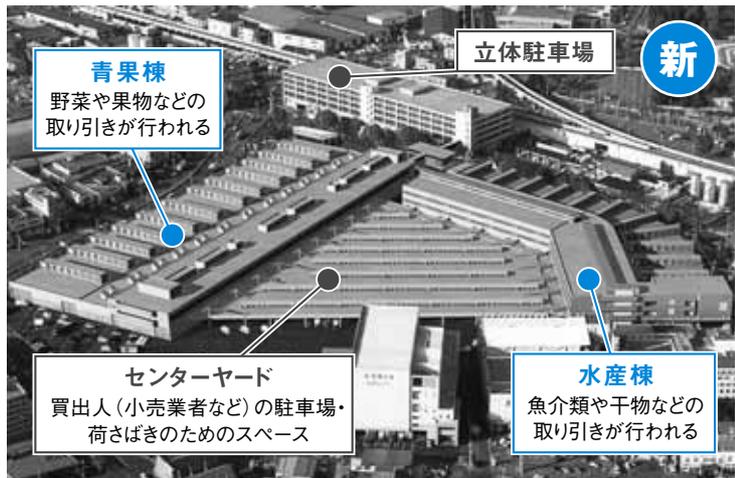
今回の再整備の目的は、建設後約四十年が経過したことに伴う施設の老朽化や、取り引きスペースの不足に対応すること。この整備により、天候に左右されずに取り引きできるなど、流通拠点としての機能がさらに向上します。

1111 詳細 中央卸売市場 ☎(611) 3



旧

旧施設では、荷さばきスペースが、隣接する青果と水産の卸売場の間に集中しており、作業が混雑することもしばしばありました。



新

青果棟
野菜や果物などの取り引きが行われる

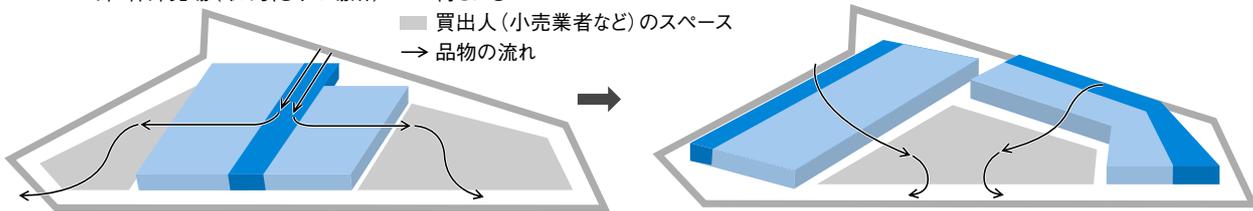
立体駐車場

センターヤード
買出人(小売業者など)の駐車場・荷さばきのためのスペース

水産棟
魚介類や干物などの取り引きが行われる

※完成予想図

- 卸・仲卸売場(取り引きする場所)
- 荷さばきスペース
- 買出人(小売業者など)のスペース
- 品物の流れ



来て見て学ぼう！ 市場の役割、食文化

再整備により、せりの様子をじかに見られる見学通路のほか、市場の役割や食の豆知識を紹介する展示室なども設置。個人のほか、町内会など団体での見学もできます(事前に予約が必要)。



再整備のポイント

- 1 全面屋根付き市場
天候に左右されずに取り引きができる。
- 2 青果と水産の建物を分離し、
買出人のスペースを中央に配置

取り引きする場所を左右へ分離したことにより、品物を荷さばきする際の混雑が解消され、買出人(小売業者など)にとっても、青果、水産両方の取り引きを行いやすくなる。